# 令和6年度学校経営方針

## 生徒にとって

- 目標をもって行動できる
- 自分が生かせる、伸びる
- 授業がよく分かる、楽しい
- 認め、支えてくれる仲間がいる
- ☆ 元気にあいさつができる生徒
- ☆ 何事にもひたむきに努力できる生徒
- ☆ 思いやりをもって協調しようとする生徒
- ☆ 仲間と共に成長しようとする生徒

受容的、共感的な雰囲気の中で 、 安心して生活することができる

## 教育目標

- ― よく学び、よく考え、元気に実践する ―
- 基礎学力をしっかり身に付ける 正しい判断力を養う
- 積極的に体力づくりをする
- なにごとにも進んで実践する

## 目指す学校像

子供が毎日通いたい学校 保護者に信頼される学校 地域から愛される学校

#### 目指す生徒像

- ◇十中生であることを誇りに思い、努力や誠実さ、正義を大切にできる生徒
- ◇常に素直で謙虚な姿勢を大切にする生徒
- ◇「明るいあいさつ きれいな学校 時間を守る」を実践する生徒
- ◇自分で考え、判断し、行動する生徒

# 保護者にとって

○ 生徒を安心して任せることができる

○ 生徒の多様な力を伸ばしてくれる

○ 親身になって相談に乗ってくれる

府中市教育委員会が育成を目指す資質・能力

# 地域にとって

○ 地域の担い手である生徒をよく育ててくれる

- 地域によく耳を傾け、協力してくれる

図り、よりよい自己を実現する力

○ 多様な取組で地域を活性化してくれる

# 教職員にとって

府中市立府中第十中学校校長 芹澤 敏光

○ 力を存分に発揮できる

令和6年4月5日

課題を発見し、課題解決に主体的に向き合い自らの考えを形成するとともに他者と協働しながら合意形成を

- 教育の価値と成果を実感できる
- 〇 新しい取組に挑戦できる
- 誇りをもって組織的に動く
- ☆ 人間性が豊かで実践力のある教職員
- ☆ 使命感、情熱にあふれる教職員
- ☆ 子供のよさや可能性を伸ばす教職員
- ☆ 組織人として協働し、高め合う教職員

3年間の「学び」と「育ち」に 責任をもって全力で取り組む

## 令和6年度 指導の重点

- 授業について常に工夫と改善を行い、生徒同士の関わりを大切にし、主体的な学びを進める。生徒が「分かった」と思える授業、「力が付いた」と実感できる授業を推進する。
- ○「発見すること」「対話すること」「決定すること」「表現すること」の視点を取り入れた教育活動を推進する。
- 全教育活動を通じて学校や社会のルールを順守する指導を徹底するとともに、人権教育、心の教育及びいのちの教育を推進する。また望ましい規範意識のもと、自他を尊重し、思いやりと豊かな人間性、社会性に満ちた心豊かな生徒を育成する
- 運動に親しみ、身体を動かす習慣を身に付け、主体 的に体力向上に取り組む。また心身の健康づくりと食 育を推進し、健やかな身体を育成する。
- 学校と地域が、「共に子供たちを育て、ともに地域を つくる」という理念に立ち、学校や地域の特色や実情を 踏まえ、「地域貢献プロジェクトチーム」の活動をはじめ として連携・協働し、子供たちの成長を支える活動を推 進する。
- 特別な配慮が必要な生徒や不登校について、組織 的な対応を充実させたり、外部機関との連携を強化し たりするなど、個に応じた支援を充実させる。
- 多様な人々が共に生きる社会の実現に寄与すること が出来る生徒を育成する。

- (1)確かな学力の定着
- ① きめ細やかな個に応じた指導の充実と能力の伸長 ア 数学、英語の全授業における習熟度別少人数指導 の実施
  - イ 理科の授業におけるティームティーチングの実施
  - ウ 支援が必要な生徒に対する学習支援員の活用
  - エ 教員相互の授業観察と意見交換の校内研修による 授業力の向上
  - オ eライブラリーアドバンスやブリタニカ・スクールエ ディションの積極的な活用
- ② 基礎・基本の確実な定着や学習意欲の向上を目指した取り組みの充実
- ア 授業改善推進プランの作成、工夫、改善
- イ 漢字·英語検定等の積極的な取得、各種コンテスト の実施
- ウ 言語活動(読む、書く、話し合う)の質の向上
- エ 学校支援員を活用した定期的な放課後学習教室 の実施
- ③ 朝読書や学校図書館支援員を活用した取組の更なる 推進による読書活動の充実、自ら学び、考え、表現する カの育成
- ④ タブレット端末等ICT機器を積極的に活用し、課題や 目的に応じた主体的な学習活動の充実
- ⑤ これまでの教育実践とICT機器活用の融合を図ることによる、生徒の資質・能力の効果的な育成
- ⑥ 肯定的な指導、評価の実施
- ⑦ 授業改善推進プランの更新、学力調査の分析と統一した授業評価の実施による指導方法の・工夫・改善。

- (2)健全育成の推進
- ① 学校行事を中核とした多様な体験活動を通じた互いに認め、支え合い、高め合う「かけがいのない仲間づくり」の推進
- ② 道徳授業や道徳授業地区公開講座の確実な実施とそれと関連付けた講話や働き掛けによる道徳的心情の涵養
- ③ SCやSSW等を活用した保護者への働きかけや関係機関 との連携を強化したり、サポートルーム活用したりすることに よる各フェースに応じた不登校対応の確実な推進
- ④ いじめの根絶、しない、させない、見逃さない、許さないの 徹底
- ⑤ SNSトラブルの未然防止の推進
- ⑥ 自己肯定感、自己有用感、共存共栄の意識を高めるが学 級指導の展開
- ⑦「未来へつなぐ府中 2020 レガシー」のテーマを日本の伝統 文化として推進
- ⑧ ふるさと学習を、歴史·文化からのアプローチを中心に進めることによる、ふるさと府中を愛する心の育成
- ⑨安全教育・防災学習や各教科などと関連付けながら生徒が 主体的に様々な課題の解決の取り組みを通したESD(持続 可能な開発のための教育)の推進
- ⑩ 府中版コミュニティースクールとしての取組の充実
- ① 地域社会への貢献・地域社会と連携することの大切さの意識の涵養
- ① 「自助・共助・公助」の精神を育む地域防災スクールの実施
- ③ 将来に向かう力を育むキャリア教育の充実と職場体験学習の実施
- ④学校問題における組織的な初期対応の徹底と保護者との連携
- 15男女平等、性の多様性に関する理解を深め、他者を尊重

- (3)健康の増進と体力の向上
- ① 体力テストの結果を生かし、体力向上に向けた取組の強化
- ② ガイドラインの順守、部活動指導員、外部指導者の活用。 人間教育を行う場としての部活動の充実
- ③ 健康と安全を意識させる指導を工夫することによる、効果的な学校行事の実践
- ④ 避難訓練、安全指導、セーフティ教室、薬物乱用防止教室等の実施による安全意識向上と危機回避能力の育成
- (4)小・中の連携・接続
- ① 小中9年間を一連の教育ととらえ、「学び」と「育ち」に関する成果と課題の共有し、目指す生徒像の実現に向けた系統的な指導の実施
- ② 小中連携の日等により、子供たちの現状及び教育課題を的確にとらえた効果的な小中連携への工夫改善
- ③ 小中合同の挨拶運動や小学校の運動会への中学生のボランティア参加など、学校行事における積極的な交流の推進(5)特別支援教育
- ① 巡回心理士等を活用した個に応じた指導の充実
- ② 学校生活支援シート、スクールカウンセラー、家庭と子供の 支援員等を活用した、個のニーズをとらえたきめ細やかな指 導の充実
- ③ 特別支援教室の効果的な運営、校内委員会の充実 (6)服務の厳正
- ① 教育公務員としての自覚の向上、教職員相互の声掛けの習慣化による服務規律の徹底
- ② 学習指導要領に基づく、意図的・計画的・継続的な教育の推進、予算の適正な執行、管理